

## 目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

# SEA IWAKI

9月号／2007年9月1日発行

## 3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

●とき  
平成19年8月21日(火)

## 8月通常例会

地球温暖化問題に取り組んだ映画の上映会

●ところ  
いわき市文化センター



8月通常例会が午後7時よりいわき市文化センター2Fの視聴覚室で開催されました。田子英彦さんの司会、鈴木清友さんの3つの目的唱和の後、里見代表幹事のご挨拶、各種連絡事項が例月通りに実施されました。

里見代表幹事からは、8/21が福島県民の日であることの紹介がありました。これは、明治9年8月21日に若松・岩崎・福島の3つが合併して福島県が誕生したことを記念する日として条例で定めたもので、郷土を知ることで郷土愛を醸成していくのがその目的だった様ですが、県施設の無料開放等を実施しているものの県民には非常になじみが薄い状況であり、もう少し宣伝していく必要があるものと思われる等のお話がありました。また本日の例会テーマである「地球温暖化」は、我々が無関心ではいられない問題であり、我々自身として何ができるかという観点での勉強が本日の目的であるとのお話をありました。

また、研修委員会から9/26～27の研修旅行は現時点で15名の参加申し込みがあったとの報告がありました。

今月の誕生月プレゼントは、カミーラで、(株)カミーラの清水の清水さん、都築鋼産(株)の安下さん、(株)小名浜包装資材の小沼さん、東京海上日動火災保険(株)の前田さんが受け取られました。



左より前田敦さん(8月28日) 清水雅昭さん(8月6日) (代表幹事) 安下正裕さん(8月3日)  
小沼郁互さん(8月10日)

# 地球温暖化問題に取り組んだ映画の上

8月例会は、地球温暖化 (Global Warming) の解決に向け、世界各地の現状を交えながら「手遅れにならぬうちに始めなければならない」回避に向けた具体策を提示され地球の未来について考えたドキュメンタリー映画を鑑賞しました。

スライド講演は「地球温暖化のメカニズム」「CO<sub>2</sub>濃度と気温上昇の実測データ紹介」「温暖化の影響実例と今後のシナリオ」「我々人類が今なすべきこと」で構成されており、迫力あるプレゼンテーションも相俟って、非常に説得力がある内容でした。また、アメリカ政府の地球温暖化対策の遅れについて言及している場面では、ブッシュ親子が大統領演説している様子が挿入されていたことも非常に印象的でした。

この紙面の関係上、講演内容すべてを記載することはできないので、上記順序に従ってポイントのみ会員の皆様方にご報告いたします。

## 1. 「地球温暖化のメカニズム」について

- (1) 大気層は地球儀に塗ったニスほどの厚みしかなく、地球が反射した太陽からの熱を大気層が程よいバランスで溜めることで地球の気温を一定に調整してきた。しかしながら、石油・石炭の化石燃料使用による温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量増加によって、地球の大気層が厚くなってきており、従来よりも大気層に溜める熱量が増えていることが温暖化の原因。
- (2) 北極・南極等の氷は、太陽からの熱をそのまま反射させる機能を持っているが、温暖化によりその氷の量が激減したことで熱の反射量も激減し、熱が海水・地表の温度を直接上昇させている。

## 2. 「CO<sub>2</sub>濃度と気温上昇の実測データ」

- (1) 南北戦争以降から2005年までの世界の気温上昇グラフで、平均気温の高い順にならべると、上位21年のうち、20年は最近の25年内に集中していることと、そのグラフとCO<sub>2</sub>濃度上昇グラフを重ねるとほぼ一致している事実の紹介。温暖化を自然の気候変動の一種としている科学者への反論として、世界の急激な工業化による

CO<sub>2</sub>排出量増加が、平均気温上昇に結びついている事実を明らかにしている。

- (2) 過去65万年で、CO<sub>2</sub>濃度が300ppm以上となってことは1度もないが、今のペースから予測すると50年後にはそのレベルに到達してしまう。

## 3. 「温暖化の影響実例と今後のシナリオ」

- (1) 音をたてて海に崩れ落ちる南極の氷河や、かつて万年雪だったキリマンジャロの写真と現在の茶色の山となった写真の比較や、一面氷に覆われた78年前のパタゴニア氷河が、現在では氷がなく山と湖だけになっている写真等、かつて氷で覆われていた場所から、氷がなくなっている映像が紹介された。
- (2) 海に浮かんでいる氷が溶けても海面の上昇はないが、南極・グリーンランド等の地表面の氷が溶ければ海面上昇に直結する。シナリオではすべて解ければ海面が6 m上昇し、世界各地の沿岸部は壊滅的な被害を受ける。マンハッタンはほぼ水没、北京・上海・カルカッタ・バングラディッシュ等人口が多い場所だけでも延べ1億以上の人気が避難しなければならなくなる。
- (3) また海水の温度上昇・海面の上昇は、近年の巨大ハリケーンの発生や豪雨に直結、また降雨地域の変動もひきおこしており、干ばつの被害も世界各地で報告されている。更には海流の変化(暖流と寒流の進路変化)も進行しており、その影響は地殻変動レベルで突然襲ってくる可能性が高い。
- (4) 気温上昇は、病原菌を運んでいる蚊等の小さな昆虫の移動範囲の拡大も招いており、かつて絶滅させたはずの疫病の復活や西ナイル熱等の新たな病気の出現にも繋がっている。

## 4. 「我々人類が今なすべきこと」

- (1) 地球温暖化が確実に猛スピードで伸展している現状を認知しながら対策を打たなければ、人類は“ゆで蛙”(熱いお湯に蛙を入れると即飛び出しが、水に蛙を入れて下から火をかけても、高温になるまで気がつかず、気がついて飛び出そうとしたときははや飛び出す力が残って



いない状態) になりかねない。温暖化に関するこのような事実は、我々自身も生活スタイル変化を余儀なくされること、また大量のCO<sub>2</sub>排出しなければならない企業にとっても事実から目をそらしてはいけない。

- (2) 人類は不可能だと思っていた月面着陸やオゾン層保護等も実現してきた。温暖化対策も今なら1970年代のレベルに戻すことが可能。一人一人が電力消費削減を意識し、ハイブリット車や低燃費車を使用する等今できることから始めていかねばならない。CO<sub>2</sub>排出削減に動き出した州も多くなっており、あとはアメリカ政府がどのように動くか問題。
- (3) アメリカは世界最大のCO<sub>2</sub>排出国の一いつで、

最新の化学技術をもちながらも、京都議定書に批准していない。CO<sub>2</sub>排出抑制は経済減退に繋がるとの論であるが、アメリカの排ガス規制値は今や、中国以下の水準であり、米国車は中国に輸出できない。ハイブリッド車や低燃費車の販売が好調のように、環境対策とビジネスは両立させることができるはず。短期的な企業利益を代表する政治家の存在が対策の障害になっているのも事実。

- (4) 地球温暖化問題は、国を超えた人類全員の問題。子供たちが生きる未来の地球を守るべく、皆で考え、一人一人ができるところから行動に移していくことが大事である。

## 7月グループ会報告

### 福祉グループ会

- 日 時 7月31日(火曜日)19:00~21:00
- 場 所 レストラン イタリアンコート
- 議 題 「上四半期の反省と後半に向けての懇談会」
- 内 容 今回は、納涼会も兼ねて、イタリアンコートで、会食をしながらのグループ会と致しました。

はじめに、長谷川委員長から上四半期を振り返っての報告と、今後のグループ会の進め方についてのお話しがありました。

その後は食事をしながら先進地視察等の検討や、他グループとの連携についてなどさまざまな意見交換をしました。

### 環境グループ会

- 日 時 7月24日(火曜日)18:30~20:30

- 場 所 報徳苑

- 内 容 武藤グループ長より

環境問題をテーマにしたある著書を紹介され、その中でも特に面白い部分を抜粋してお話を頂きました。

\*ホームページ検討委員会に提出する環境グループとしての素案を話し合いにてまとめました。

\*9月のグループ活動の一環として先進地視察を

予定しておりその内容と日程を話し合いました。また、先日収録及び放送を終えたFMいわきにおける環境グループの出演の報告をして散会いたしました。



### 情報グループ会

- 日 時 7月18日(水曜日)18:30~21:00

- 場 所 報徳苑

- 議 題 7月度情報グループ会は、ビジネスモデルの検討のためのヒントを探る為の意見交換・情報交換を行いました。

#### 《主な内容》

- (1)いわき地区での最近の出来事・話題

①小名浜CCに代表される倒産企業の状況

- (2)インターネットや電子媒体の現状

①バーチャル取引の拡大と現状

②インターネット利用の日本とアメリカの違い

③オンラインゲームの浸透とコンビニとの連携による電子マネーゲーム

④電子マネー(カード)の魅力と商品券との違い・今後の展開

- (3)その他

①駅前開発ビルの状況とら・ら・ミューの問題点事例

②受注システム活用の課題(取組み報告)



## ●研修委員会

延期になっておりました本年度の先進地視察研修は、長野県小布施町と東京理科大学との官学で立ち上げた『小布施町まちづくり研究所』の取り組みを含め、自分たちのためのまちづくりが結果として観光客の多く集まる小布施町になった事、『中心市街地活性化』認定第1号の富山市の公共交通整備(LRT)・にぎわい拠点の創出・まちなか居住の推進でコンパクトで暮らしやすいまちづくりを研修いたします。研修結果につきましては後日この紙上にてご報告いたしたいと思います。

■視察地 小布施町  
富山市総曲輪地区

■期 間 9月26日(火)～27日(水)

## 企業・店舗のイメージアップに！

### 子育て応援パスポート事業

協賛企業・協賛店を募集

12月1日より開始！

#### ●協賛企業として提供するサービスの例

子供対象のイベント、工場見学  
職業体験、商店街スタンプラリー、  
割引やポイントアップ  
景品プレゼント、子育てサークル  
などへの場所提供

#### ●協賛企業になったときのメリット

行政においてのPR  
ガイドブックへの掲載  
福島県のHPにて情報発信等

受付期間／平成19年10月1日まで

#### 申込み・問い合わせ先/

福島県少子高齢社会対策グループ

TEL024-521-7198 FAX024-521-7979

[http://www.pref.fukushima.jp/angelnet/kosodate\\_ouen/passport\\_index.html](http://www.pref.fukushima.jp/angelnet/kosodate_ouen/passport_index.html)



## \*\*\*\*\* 9月グループ会ご案内 \*\*\*\*\*

- 環境グループ／9月11日(火) PM6:30～ ひめゆり総業駐車場 先進地視察(アグリ堆肥場等)
- 福祉グループ／9月28日(金) PM6:30～ 報徳苑 豊かな老後のために、ファイナンシャルプランナーをお呼びして
- 情報グループ／9月20日(木) PM6:00～ いわきら・ら・ミュウ2F研修室 ビジネスマodel研究、HP内容検討検討会
- 観光グループ／9月20日(木) PM6:30～ 東京海上日動いわき南支社 アンケートをもとに新しいビジネスの構築

\*\*\*\*\* 会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。\*\*\*\*\*

## 9月例会 開催のご案内

平成19年 9月10日(月)

パレスいわや

会費 1,500円

P.M. 6:30～ 食事会  
" 7:00～ 例会  
" 7:15～ 講演会  
" 8:45～ 質疑応答

講師 株式会社大東銀行 取締役社長 能勢秀幸氏

大東銀行は、日本経済新聞社及び日経リサーチ社が、全国121銀行のリテール力を多角的に調査した「第3回銀行リテール力調査」の調査結果(平成19年7月9日公表)において、総合第9位という高い評価を得ました。

現在『経営改善計画(改訂版)』における施策の柱のひとつに「お客様から支持される銀行」を掲げ、6期ぶり黒字への転換は会員企業の皆様においても大変参考となると思います。

いわき経済同友会  
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。  
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 里見 潤  
編集 広報委員会 清水雅昭  
委員 中田博道・前田 敦・田村慎太郎・山崎勇喜

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F  
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211  
<http://www.seaiwaki.jp>  
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp